

「NPO等の実態調査とNPO事務力セミナー・NPO検定による組織基盤強化事業・2023年度NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査」

1. 事業目的

令和2年度内閣府調査でNPOが抱える課題は、「人材の確保や教育」が62%、「後継者の不足」43.8%、「収入源の多様化」が42.9%で、財政面や人材面で課題を抱えている法人が多いが、山形県での実態調査は、ここ数年実施されておらず、NPO支援施策もない。内閣府データによる県内のNPO法人財務状況では、債務超過の法人も少なくない。山形県の実状を知るためNPO法人及び地域課題解決の担い手についての具体的な聞き取りや実態調査が必要だ。また、適切な事務局運営を課題としている団体も多いことが相談業務からうかがえる。

本事業では、調査と共に、NPO経営を支援する全国NPO事務支援カンファレンスのプログラムにより、団体運営に必要な事務局業務についてのセミナーと、セミナー終了後、NPOに必要な事務手続きの理解を問う日本で唯一の検定「NPO法人事務力検定」を行い、理解度や習熟度を高め、事務力の向上を目指す。正確な運営事務は、団体の信頼性を高め、ガバナンスの強化につながり、持続可能な組織運営の基盤となる。調査及び事業の報告会を行い、ステイクホルダーと共有し、今後の支援のあり方を検討し、民間非営利組織（NPO等）の支援につなげると共に、市民社会セクターが発展するための基盤整備を図る。

2. 事業内容

1) 2023年度NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査

山形県内で活動するNPO法人（認定を含む）・一般社団法人（非営利活動）・任意団体を対象に、団体がおかれている現状や抱えている課題、団体が感じている地域の課題等をうかがい、山形県内のNPO等の活動の現状を明らかにする。

- ①調査期間：令和5年6月15日～令和6年2月13日
- ②対象：山形県内のNPO法人、任意団体、一般社団法人非営利型に80団体に対し、訪問型、WebシステムZOOM、NPO事務力セミナー（注1）参加団体
（注1）NPOの基礎知識、各庁への提出書類作成事務、雇用手続きと給与計算、経理事務の基礎知識など、NPOの運営実務全般を一日で、学ぶセミナー

訪問によるヒアリング	50	NPO法人	68
WebシステムZOOM	9	任意団体	10
NPO事務力セミナーにおいて	21	一般社団非営利型	2

<調査した地域>

置賜地域		村山地域		庄内地域		最上地域	
飯豊町	1	大江町	1	遊佐町	1	新庄市	6
小国町	1	尾花沢市	1	酒田市	5	金山町	1
川西町	2	河北町	2	鶴岡市	9	舟形町	1
高島町	1	上山市	3				
長井市	3	寒河江市	1				
南陽市	2	天童市	4				
米沢市	6	東根市	3				
		村山市	2				
		山形市	24			1	
	16		41		15		8

<おもな活動分野>

移動支援	3
環境(環境保全)	7
患者の会	1
更生支援	1
高齢者支援	10
国際交流	5
子育て支援	16
生涯学習	1
障がい者支援	15
男女共同参画	2
スポーツ振興	1
地域づくり	15
中間支援	1
避難者支援	1
不登校支援	1
	80

③回答いただいた方：事業を統括されている職員の方、事務局長、代表者

④調査方法：インタビュー質問項目を決め、回答内容に応じさらに質問を掘り下げていく半構造化インタビューによるヒアリング。

別添 資料 2023年度 NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査 報告書参照

⑤調査結果

別添 資料 2023年度 NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査 報告書参照

⑥ヒアリングによる成果

1. 活動団体の声を反映した支援づくり

活動者のニーズや要望を把握し、それに基づき今後の支援プログラムをつくることで、効果的な支援の提供ができる

2. 問題の早期発見と解決：

活動団体の声を直接聞くことができたことにより、問題や課題を団体と共有し、解決策を見つけることができた。

3. 団体との信頼関係の構築

ヒアリングを通じて、コミュニティとのコミュニケーションを密にし、信頼関係を築くことができた。協力関係が築かれたことで、今後の支援活動をより効果的に行える。

⑦ヒアリングにおける相談対応の実施

成立相談 4団体 解散相談 3団体

組織運営のインシデント相談 7団体

（パワーハラスメント2団体 経営4団体：内士業との連携2件 事業承継1団体）

※ヒアリング後、相談対応を受ける。今後も継続してサポートを行う。

⑧「NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査」報告会開催

2023年の6月20日～2024年2月13日に実施いたしました「NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査」のオンライン報告会を実施した

日時 2024年2月22日（木）19:00-20:00

開催形式 オンライン ZOOM 参加者 14名

内容 1. ヒアリング報告
2. 意見交換会



2) NPO 事務力セミナー・NPO 検定

NPO 経営を支援する全国 NPO 事務支援カンファレンス のプログラムにより、団体運営に必要な事務局業務についてのセミナーと、セミナー終了後、NPO に必要な事務手続きの理解を問う日本で唯一の検定「NPO 法人事務力検定」を行い、理解度や習熟度を高め、事務力の向上を目指す。正確な運営事務は、団体の信頼性を高め、ガバナンスの強化につながり、持続可能な組織運営の基盤となる。調査及び事業の報告会を行い、ステイクホルダーと共有し、今後の支援のあり方を検討し、民間非営利組織（NPO 等）の支援につなげると共に、市民社会セクターが発展するための基盤整備を図る。

①実施会場

村山会場

日時 2023年12月13日（金）10:00～17:15

場所 山形市男女共同参画センターファースト（山形市城西町2-2-22）

講師 宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん

置賜会場

日時 2024年1月12日（金）10:00～17:15

場所 置賜総合文化センター 301研修室 301研修室（山形県米沢市金池3丁目1-14）

講師 宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん

<村山会場>



<置賜会場>



庄内会場

日時 2024年1月19日（金） セミナー10:00～15:30/検定15:45～17:00

場所 文化館 なの花ホール 研修室（山形県東田川郡三川町横山堤172-1）

講師 基礎・所轄庁・法務局：わかやまNPOセンター 志場久起さん

労務：宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん

会計：岡山NPOセンター 加藤彰子さん

最上会場

日時 2024年2月2日（金） セミナー10:00～15:30/検定15:45～17:00

場所 わくわく新庄 会議室（山形県新庄市下金沢町15番11号）

講師 基礎・所轄庁・法務局：岡山NPOセンター 加藤彰子さん

労務：わかやまNPOセンター 志場久起さん

会計：岡山NPOセンター 加藤彰子さん

※庄内会場・最上会場は、会場と講師をオンラインでつなぎ講義を行った。

会場では、全国NPO事務支援カンファレンス認定講師〔石山由美子：NPO法人市民社会サポートやまがた〕がフォローした

<庄内会場>



<最上会場>



②内容・当日スケジュール

- (1) セミナー ★セミナー受講のみも可能。
 10:00～11:30 NPO 基礎・所轄庁・法務局
 11:30～12:30 休憩
 12:30～14:00 労務
 14:00～15:30 会計
- (2) 検定
 15:45～16:45 試験
 16:45～17:00 解説

③対象

- ・NPO 法人の事務スタッフの方、NPO 法人の役員の方、・これから NPO 法人を設立しようと考えている方、自治体の特定非営利活動法人認証事務担当者

会場	村山地域	置賜地域	庄内地域	最上地域	合計
参加人数	20	12	12	8	52

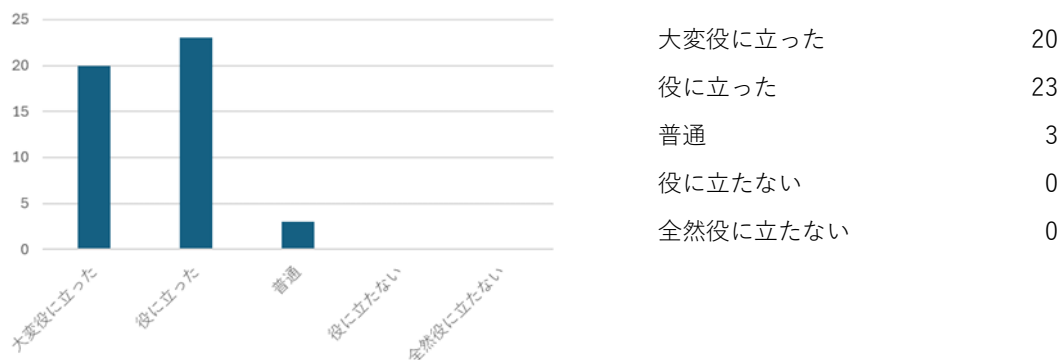
※別添 参加者名簿参照

④NPO 事務力セミナー・検定の成果

1. 事務業務の効率化
 セミナーで学んだノウハウやツールを活用することで、事務業務の効率化が図れる。業務の効率が向上する。
2. 資金調達のスキル向上
 資金調達に関する知識やスキルを習得し、効果的な資金調達活動ができるようになった。これにより、NPO 法人の活動を継続するための資金を確保することができる。
3. 法務知識の向上
 法務に関する基本的な知識や情報を学び、適切な法務リスク管理ができる。
4. 会計管理の改善
 会計管理の基本的な知識や手法を習得し、効果的な会計管理ができるようになり、組織の健全な運営ができる。

⑤アンケートのまとめ（回答率 46/52 88%）

- a. 今回のセミナーが役に立ったと答えた団体は9割



- b. NPO 法人が欲しいサポートについて
- ・適切な報告書や手続きのサポート
 - ・人材の紹介
 - ・中間層の職員同士の交流
 - ・相談にのってもらえる場所があるといい（他5件）

- ・会計について学ぶ場がほしい
- ・法務局への手続き、役員の変更登記について
- ・会計、労務のサポート
- ・様々な手続きや問題解決のためのアドバイスをその都度受けてみたい

c. 組織運営サポート、組織評価を受けたい考えがあるか

・ある 23 ・ない 0 ・無回答 23

あると答えた方へ、希望するもの（複数回答）

- ・組織運営サポート 12 ・会計 15 ・事業計画 4 ・資金調達 5 ・法務 1
- ・組織評価 3

d. 市民社会サポートやまがたへのご意見やご感想

- ・今回のような講座が必要とされています。
- ・今後もこのようなセミナーを開催してほしい(他3件)
- ・各分野のエキスパートの話を聞く機会があるといい
- ・今後も研修があればうけたい
- ・もっと多くのNPO法人が聞いたほうが良い内容だとおもった。
- ・会計の難しさそれが自団体に与える負の影響が起きています
- ・運営について定期的にアドバイスがほしい
- ・定期的に勉強会をやってほしい
- ・曖昧に理解しているところが多くありました。今後とも相談でお世話になりたい
- ・具体的に使える内容で、帰ってからすぐに役に立つ内容でした
- ・理事会のことで相談したい。訪問をしてくれると、とてもありがたい
- ・法人としてやるべきことが多い。今後もサポートしてほしい
- ・NPO法人の基礎力がついて良かった
- ・変更登記の重要性が理解できて良かった
- ・法律の改正、追加、廃止など変化があった場合の解説、勉強会
- ・NPOで申請できる助成制度があれば教えてほしい

【まとめ】NPO法人への運営マネジメントが必要な理由

1. 透明性と責任性の確保

適切な運営マネジメントを行うことで、組織内の透明性が確保され、責任性が向上する。適切な財務管理や組織運営により、寄付や助成金の使途が明確化され、信頼性が高まる

2. 効果的な活動の実施

運営マネジメントを通じて、組織の目標や戦略を明確にし、それに向けて効果的な活動を計画・実施する。組織全体が目標に向かって一丸となって働くことができる

3. 持続可能な成長と発展

適切な運営マネジメントを行うことで、組織の持続可能な成長と発展が促進される。組織のリソースや人材を効果的に活用し、組織の成長戦略を策定することができる。

4. 法的規制や規範の遵守

NPO法人は法的規制や規範に従って運営される必要がある。適切な運営マネジメントを行うことで、法的規制や規範を遵守し、組織の合法性を確保する。

3). 山形県における持続可能な組織運営のグット・プラクティス 20

内閣府 HP 掲載の NPO 財務状況調査(当団体自主事業) 結果、及びヒアリング調査から、ファンドレイジング・人材育成・地域連携・組織運営に優れた団体取材しまとめた。

別添 資料 ベストプラクティス 20

〈ベストプラクティス取材団体〉

1. 一般社団法人 とらいあ
2. NPO 法人 W i t h 優
3. Sukedachi Creative 庄内
4. アベルんち
5. NPO 法人 きらりよしじまネットワーク
6. きびたき長井甦るの会
7. 鶴岡ナリワイプロジェクト
8. NPO 法人 パートナーシップオフィス
9. 認定 NPO 法人 やまがた育児サークルランド
10. NPO 法人 ふれあいここの丘
11. NPO 法人 美しいやまがた森林活動支援センター
12. NPO 法人 ひやくねん森プロジェクト
13. NPO 法人 飯豊朝日を愛する会
14. NPO 法人 明日のたね
15. NPO 法人 オープンハウスこんぺいとう
16. NPO 法人 やまごや
17. 認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
18. 山形ボランティア日本語協会
19. NPO 法人 さわらび会
20. 認定 NPO 法人 かみのやまランドバンク

①取材内容

- a. 団体概要 b. 主な活動について c. 取組みの背景・課題 d. 活動のポイント及び成果

②ベストプラクティス団体の実践する過程で得られた知見

1. 適切な目標の設定

適切な目標設定が活動やプログラムの成果を向上させている。

2. 効果測定と評価

活動やプログラムの効果を測定し成果や影響を定量的に評価していることで効果的な活動を展開している

3. パートナーシップと協力

パートナーシップや協力関係を認識することができた。他の組織や団体との連携や協力を通じ

て、活動を展開している。